

庁舎前自動気象観測装置の積雪対策

2007年9月4日 玉川一郎

現状： 2007年7月、高山試験地庁舎前の露場に、クリマテック製の自動気象観測装置が設置されました。9月現在順調に稼働しています。観測データは

<http://sateco-archive.green.gifu-u.ac.jp/AWS1/> から、ほぼリアルタイムでみることができます。観測項目は

風速, 風向, 気温, 湿度, 日射, 雨量, 気圧
m/s deg. °C % W/m2 mm hPa

で、観測高度は、**地表から計って**

423cm 284cm 274cm

風速 日射 気温

です。

気象観測装置ですので、通常の降水、降雪にはもちろん耐えますが、記録計や電源装置の入った箱が、積雪に覆われると、融雪時に内部に水が入って故障する恐れがあります。また、雨量計はヒータを内蔵していないタイプですので、積雪により物理的に故障する可能性があります。そこで、積雪時期には、以下の2つの対策をお願いしたいと思います。

1. 本体、記録部電源部の雪囲い

庁舎に保存してあるビニルシート（アルミ色のもの）で以下の写真1から写真3のように覆ってください。

写真1



写真 2



写真 3



2. 雨量計の雪囲い

雨量計は、取り外すか、材木あるいはパイプを3、4本組んで囲いシートで覆ってください。